

登録有形文化財(建造物) 鎌倉国宝館本館



登録有形文化財に登録される当館の本館は、鉄筋コンクリート造による高床式の校倉風建築です。設計は日本銀行小樽支店や歌舞伎座(第三期)の設計で知られる岡田信一郎、施工は松井建設(当時松井組)でした。外観を奈良の正倉院に模し、内部は鎌倉時代の寺院建築の手法が用いられています。寄棟瓦葺き屋根の中央部には、小屋裏位置に採光用の越屋根を隠したり、さらに内部では虹梁大瓶束形式で採光用越屋根の棟を支える造りとされています。

員 数	一棟
所 在 地	鎌倉市雪ノ下二丁目1051番2（鎌倉市雪ノ下二丁目1番1号）
年 代	昭和3年(1928)
構 造 ・ 形 式	鉄筋コンクリート造2階建、瓦葺
規 模	798.84m ²
登 録 年 月 日	平成12年(2000)4月28日
登 録 番 号	14-0040
登 録 基 準	造型の規範となっているもの